

人口減少の難局打開に向けて国と地方が協力を

自由民主党幹事長 谷垣 禎一

本日は全国町村長大会のご盛会、心からお喜びを申し上げます。私は、昨年9月から1年余り自由民主党幹事長の職務を務めさせていただいておりますが、幹事長室におりますと、知事さん、市町村長さん、あるいは地方議員の方々など、実に多くの方々と面会をさせていただく機会がございます。皆さんに共通しますのは、地方創生に賭ける熱い思いと申しますか、この地方創生を自分たちの地域でいかに具体化させていくかということに対する熱い思いを、私どもは強く感じている次第でございます。

我が党は、今年の地方統一選挙のポスターの標語で、「地方こそ成長の主役」ということを掲げて参りました。アベノミクスの成長の成果を地方の隅々まで届けなければならないというのが我が党の思いでございます。政府と党が一体となって、この目的を追求してきた一年であった訳ですが、地方創生の「創」という字には、「初めて作り出す」という意味がございます。先程石破大臣から、少子化、人口減少の数字についてお話がございましたけれども、これは我々が今まで経験したことがなかった時代に突入してきたことを如実に語っております。この難局を打開するには、まさにいままで思いも寄らなかったことを、国と地方が共に協力して創っていかなければならないということだろうと思っております。

本日の大会では「TPP対策の実施」も特別決議に掲げられておられますが、TPPは我が国にとって大きなチャンスでもあろうかと思っております。しかしながら、激しい競争一辺倒というだけでは、多くの国民からの理解を得られないものと考えております。地方の創意工夫を生かした政策を進める一方で、多くの不安を和らげ、丁寧な説明を尽くしていく、そういう包容力のある政策が、我が国に求められているのではないかと考えている次第でございます。

また、ゴルフ場利用税の問題、あるいは森林環境税の創設にも高い関心を払っていただいておりますが、こういう税制の要望につきましても、我が党としては地域の声を国政に生かすために、皆様と一緒に努力して参りたいと考えているところでございます。

お陰様で、自由民主党は11月15日に立党60周年を迎えました。これまでの我が党の歩みは、地域に根差し、地域に根を下ろすということを目指して、それを大切にしながら歩んできたつもりでございます。先人もその点に大変な努力をされました。この原点を守る自由民主党であり続けなければならない、このように思っております。このことを皆様にお誓い申し上げ、全国町村会の益々のご発展を心からお祈り申し上げまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。